

作新サヨナラで散る



試合を終え、ベンチ前に整列する作新ナイン＝甲子園

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
作新	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	4
鳴門	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2X	5

センバツ あと1人、8強逃す

第84回選抜高校野球大会第7日は28日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で2回戦3試合を行い、8年ぶり9度目の出場の作新は鳴門(32年ぶり7度目)と対戦、延長10回の末に4―5で敗れ、2000年以来、12年ぶり4度目のベスト8進出はならなかった。

作新は、1回戦で完投したエース大谷樹弘を温存し、背番号11の公式戦初登板、初先発の筒井茂がマウンドに上がった。初回、2四球と単打で1死満塁とされ、併殺崩れの間に先制を許した。四回、2本の長打な

六回、作新は無死二塁で中軸を迎えたが無得点。その裏、4連打を浴び2点を勝ち越された。しかし八回、羽石裕紀、石井の連打、高山の四球で無死満塁とし、山下勇斗の中犠飛で1点。布瀬の三塁線を破る二塁打で再び追いついた。

延長10回、1死から四番・高山良介が左翼席に大会第8号のソロ本塁打を放ち、この試合で初めて勝ち越した。しかしその裏、失策からピンチを迎え、2死満塁から2点左越え打を許して力尽きた。

延長、勝ち越し実らず

どで1死二、三塁とし、布瀬恭平の中犠飛で三走・石井一成が本塁を陥れて試合を振り出しに戻した。

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座00350-0-407

©下野新聞社2007

読者室 028-625-1179

(受付・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売局 028-625-1120

広告局 028-625-1133

事業局 028-625-1134

下野新聞社ホームページ

<http://www.shimotsuke.co.jp/>

電子号外

フリーダイヤル

0120-810081

下野新聞購読お申し込みは

栃木のニュースを携帯でも!!

下野新聞
SOON

月額262円



下野新聞

検索